

平成27年度 大阪大学 教員免許状更新講習〈選択領域〉

教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項

教育現場に「愛と信頼の好循環」をどうつくるか ～「不信と疲労の悪循環」を乗り越えて～

ワークショップを中心に行う。「不信と疲労の悪循環」ともいうべき学校現場の疲弊の中で起こる、生徒と、同僚教師と、保護者との、一見「トラブル」とみえる場面でいかに相手の要求を見だし協働の糸口をつかむのか...「愛と信頼の好循環」への転換を受講者が自らの実践を語り協働的に考察しあい模索する。その際、本講座受講者30名で1つのクラスを模し、課題に取り組む中で、安心して過ごせる空間づくりを体験的に追求する。

講師

小野田 正利 教授（大阪大学大学院教授・人間科学研究科）
佐藤 功 講師（大阪大学非常勤講師・大阪府立高等学校教諭）
西村康悦 講師（大阪産業大学非常勤講師・大阪府立高等学校教諭）

対象者

小学校・中学校・高校
・特別支援学校の現職教諭

開催 日時

7/4（土）9:30～17:30
7/5（日）9:30～17:40
※テスト時間含む

定員

30名

受講料

12,000円

時間数

12時間（6時間×2日）

場所

大阪大学 吹田キャンパス 人間科学研究科

※講習の詳細内容は裏面参照。

（注意）

講習内容はやむを得ず変更することがあります。

講習の申し込み期間は平成27年5月21日～5月26日です。

※先着順受付ではありません。修了確認期限が平成28年3月末の方を優先的に受付します。

→定員を超えての申込があった場合は抽選とします。

具体的な申込方法は、大阪大学ホームページの案内をご参照ください。

⇒大阪大学ホームページ 教員免許状更新講習

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/career/teacher/Training>

講習内容

**はっきり言って、かなり「めんどくさい」講習です
～「座って聞いてたら終わり」型でなくごめんなさい。**

<7月某日>

全国各地から集まった30人の教師たちで「模擬クラス」をつくるとかいうこの講習、まわりを見渡しても知らない人ばかり。参加者が皆、むっつりした表情に見えるのは私の気のせい？

「初めましてー。2日間、このメンバーでよろしくお願ひします。さっそくですが、ゲームをします。ご起立ください！」

入ってくるや講師が、妙に明るい声で言い出した。

(えーっ、いきなり何をさせるんだよお)

このときの、「おっくうだなあ」と感じた気持ち——先行きの見えないなかでの不安な心境を、ぜひぜひ覚えておいてください。

4月。新学年クラス開き、多くの生徒たちの気持ちってこんなものではないでしょうか？

「イチャモン研究会（学校保護者関係研究会）」の小野田は、学校への苦情の中で無理難題と感じてしまうものを「イチャモン」と呼び、そこに新たな学校と保護者の建設的な営みの手がかりがあると考え、対応のあり方を様々な視点から研究し、各地で講演、ワークショップを重ねてきました。

「おまかせHR研究会」の佐藤、西村のほか、中村貴彦（今回の特別講師）は、「教室のピンチをチャンスに変える」をモットーに、生徒たちとの“格闘”状態をどう気楽に笑い合える関係に転化させられるかを、「100連発」「裏ワザ」などと冠した著書群のなかで追求、こちらも各地のワークショップで「元気」を共有してきました。

本講座において、もちろん講師たちは自らの研究や実践を語りますが、それ以上に、参加された皆さんが持つ技（ワザ）の交換（交歓）とそのなかに潜む教育的“思想”をいかに確認しあえるかに心を砕きます。参加者自身が、安心して自らを開示し教え育ちあえる空間を皆の力で創りあげることができるのか——。本講座は、各参加者にこの1学期間に行った実践を語っていただくため、受講条件を「中学校・高校に勤める現職の教員」と限らせていただいています。また、10年、20年、30年の教師生活のなかで出会った生徒たち～「私を“教師”にしてくれた」とも言うべき印象深い生徒たち～の姿を生き生きと語っていただきますので、どうぞ話材をご用意のうえ参加ください。

**目標は、「めんどくさいからこそ充実度はかなり高い」。
～ご受講をお待ちしています。**

[お問い合わせ先]

大阪大学 教育推進部教育企画課学務係

(TEL) 06-6879-7947 or 4827

(Mail) gakute-stu@ml.office.osaka-u.ac.jp